

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103995		
法人名	株式会社ファミリーケア		
事業所名	ファミリーケアなかの		
所在地	松山市中野町甲293番2		(電話) 089-960-8711
管理者	浅田 直美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月29日	評価確定日	平成20年10月25日

【情報提供票より】 (平成20年9月17日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年4月30日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	15人, 非常勤 3人, 常勤換算 16.9人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)利用状況により異なる	
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	500円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成20年9月17日現在)			
利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	7名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	1名
年齢	平均 81歳	最低 67歳	最高 97歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>職員は、利用者の語る人生訓に学ぶことが多い。又、料理の味付けや洗濯の仕方等を教えていただいた際には、「勉強になります」と感謝の気持ちを表しておられる。利用者同士が居室を訪問し合い世間話をされたり、連れ立って畑仕事に出かける方もいる。押し車を利用されている方や車椅子を利用されている方もご自分で配膳や下膳をされていた。時には、ご家族からいただいた新鮮な果物や、事業所の畑で採れた野菜が食卓に上ることもある。誕生日には、利用者のお好みのメニューでお祝いされている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の外部評価結果を受けて、利用者の尊厳を意識した声かけや対応について話し合われた。又、個別の記録には利用者の発する言葉等を記入し、利用者個々の思いの把握に努められた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、ユニット毎に、職員で項目を分担して取り組み、さらに話し合いを重ね、各ユニットリーダーがまとめられた。利用者本位の支援の大切さや、ご家族との関係性の継続を再確認された。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議では、利用者の現況や事業所の行事の報告、外部評価の趣旨等について説明もなされた。「グループホームに期待する介護」や「地域との関わり方」「災害」等について話し合わせ、出席者に意見をいただいている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族から、「本人の話したことを教えてほしい」との要望があり、個別の記録にも記載し、お伝えするようにされた。クリスマス会やお花見に参加されるご家族もあるが、ご家族同士で話される機会は少な目である。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・秋祭りや地域の掃除に協力されている。近所の方が、花の苗やお花を持って来て下さることもある。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ファミリーケアなかの

(ユニット名) 一階ユニット

記入者(管理者)

氏名 浅田 直美

評価完了日

平成20年9月17日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを 支えていくサービスとして、事業所独自の理念 をつくりあげている	(自己評価)		
			理念は開設当時の物で、具体性にかけている。		フロア毎の理念はあるが、分りやすい様に提示して いない。
			(外部評価)		
			「利用者、家族の夢に向かって努力します」という事業 所の理念に沿って、ユニット毎の利用者の状況に応じ て、それぞれに「自立支援」「個別支援」を目標に掲げ て、取り組まれている。		事業所では、「利用者が地域の中でその人らしく生活 できるよう、地域との関係性を築いていきたい」と考 えておられた。この機会に、貴事業所が地域の中でど のようなことを目指していくのかということについて、 話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践 に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			入居時、利用者、家族のかたの生活に対する希望を聞 き、出来る限り希望される生活が送れるように支援して いる。		スタッフは入居者、家族の方の希望を共有し支援して いる。
			(外部評価)		
			理念を玄関に掲示し、職員は、理念に基づき「利用者や ご家族の立場に立った支援」に努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続ける ことを大切にされた理念を、家族や地域の人々に 理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関に理念を書いた物を貼りだしている。		家族の方へは定期的に送っている、なかの便り、に理 念を載せるなどし、理念を浸透させていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的な挨拶を行う事から初め、近所の方にホームのゴミ置き場を利用して頂いている。天候の良い日などは玄関を網戸にし、オープンなイメージが伝わるようにしている。		日常の挨拶を大切にしている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域包括の方に地域の行事の情報を頂いても、なかなか参加出来なかった。大きい行事(秋祭り)の時には休憩場所に利用して頂いている。 (外部評価) 秋祭りや地域の掃除に協力されている。近所の方が、花の苗やお花を持って来て下さることもある。		秋祭りや地域の清掃などに参加している。地域での行事に少しずつでも参加していきたい。 さらに今後は、公民館行事に利用者も一緒に参加する等、地域との相互的なお付き合いを深めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 介護教室や相談を受け入れようと検討したが、実行にはいたらなかった。		今後も地域に貢献できる方法を検討して行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価を受けて、利用者の外出の機会が増えたが、改善さらていない所もある。 (外部評価) 自己評価は、ユニット毎に、職員で項目を分担して取り組み、さらに話し合いを重ね、各ユニットリーダーがまとめられた。利用者本位の支援の大切さや、ご家族との関係性の継続を再確認された。前回の外部評価結果を受けて、利用者の尊厳を意識した声かけや対応について話し合われた。又、個別の記録には利用者の発する言葉等を記入し、利用者個々の思いの把握に努められた。		常に利用者本意で考えるように心掛けている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告や話 し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に 活かしている	(自己評価)		
			民生委員の方、地域の方にも来て頂き情報交換の場 になっている。そこでの情報やアドバイスを元にサービス 向上に向けて、努力をしている。		家族の方にも参加を呼びかけ、参加して頂いた。
			(外部評価)		
			会議では、利用者の現況や事業所の行事の報告、外部評 価の趣旨等について説明もなされた。「グループホーム に期待する介護」や「地域との関わり方」「災害」等 について話し合われ、出席者に意見をいただいている。		今後、会議に職員の出席を増やし、ご家族にも多く出 席いただけるよう、働きかけていきたいと考えておら れた。今回の外部評価結果についても、今後の会議で 報告される予定とされていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外 にも行き来する機会をつくり、市町村とともに サービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			久谷地区の連絡協議会に参加している。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、地域包括支援センターの担当者の方 から、地域との関わりを築くためのアドバイスや公民館行 事の情報を提供いただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必 要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれら を活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修会に参加している。		必要であると思われる方が入れば、市役所、地域包括 センターの方などに相談している。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につ いて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内 で虐待が見過ごされることがないように注意を払 い、防止に努めている	(自己評価)		
			身体的な虐待は無いが、言葉の虐待にならないようス タッフ一人一人が気をつけている。		家族の方と外出された時は、帰所後外出時の様子を聴 く。スタッフの言動に問題があれば注意し合う様にし ている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結ぶ際には、管理者、ユニットリーダーが同席し十分な説明を行っている。		看護師が同席し医療面についても説明している。入居後も必要な医療が継続して受けられる様に医療側にもコンタクトを取っている。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者がスタッフと2人きりになれ、気兼ねなく話が出る場所で(入浴中、居室)不安、不満、意見を聞き、内容によりスタッフで検討し、運営に反映させる。		日常の中で信頼関係を作り、利用者から話し易い関係作りを心掛けている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 年4回のなかの便りの発行。家族の方の面会時にはホームでの生活ぶりをお話している。金銭面については、希望のされる方のみ出納帳をつけて郵送している。 (外部評価) ご家族の来訪時に、利用者の健康状態や日々の様子、又、状態が改善されたこと等についてもお伝えしている。個々に手書きのお手紙や、行事の写真等が載った「なかの便り」をご家族に送付しておられる。		事業所では、今後、利用者の預かり金の収支について、毎月、すべてのご家族に報告することを決めておられた。管理者は、今後「なかの便り」に事業所の理念について掲載し、ご家族にも知っていただけるよう、取り組みたいと話しておられた。さらに、運営推進会議や職員の紹介等、報告の工夫を重ねていかれてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関にご意見箱を設置しているが、利用される方はいない。直接不安や、不満を話される方もいらっしゃるが、何もいわれない方についても、日常生活を話す中で信頼関係を築き、何でも話して頂ける関係作りをしていきたい。 (外部評価) ご家族から、「本人の話したことを教えてほしい」との要望があり、個別の記録にも記載し、お伝えするようにされた。クリスマス会やお花見に参加されるご家族もあるが、ご家族同士で話される機会は少な目である。		管理者は、さらに、ご家族との関係性を深めていきたいと話しておられた。ご家族同士の交流する機会を作られたり、ご家族も参加した活動等、事業所のことをさらに知っていただけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のミーティングの際議題に上げ、検討している。		ミーティング以外で出てきた問題はその内容により、その都度検討している。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 外出行事など安全確保の為に人員確保に努めている。		病院受診などは出来る限り家族の方をお願いしているが、家族のない方や、家族での対応が困難な方は、ヘルパーの利用も検討している
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、移動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動は無いが、離職者は数名いた。		離職者が続いた時には、スタッフ間で話し合い教え方に問題は無かったかなど振り返った。
			(外部評価) 事業所開設当時から職員もおられる。離職の際、ご家族にその旨を手紙でお知らせする職員もおられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の推奨を行い、利用者の介護に必要な知識を取得するよう努力している。		
			(外部評価) ミーティング時に、利用者の状況に応じて日常の介護の問題点等を話し合われている。外部研修受講後の報告書は、職員間で回覧されている。職員は、外部研修で得た「口腔ケア」等の知識や技術を実践につなげておられる。現在、職員が外部研修を受ける機会は少な目となっている。		事業責任者及び管理者は、今後、「看取り」や「精神的疾患」に関する研修に参加し、支援の質向上を目指したいと考えておられた。又、職員も、外部研修を受講し、スキルアップを図りたいと話しておられた。さらに、事業所内でも職員個々がスキルアップできるような仕組みを作っていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同業者の運営推進会議に参加させて頂いている。		
			(外部評価)		
			久谷地区の事業所が集まる勉強会に出席し、ケア等について意見交換をされたり、悩みを共有される等、ネットワーク作りに努めておられる。又、法人内の事業所との交流もある。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			希望休、有休が取れる。		スタッフがリフレッシュ出来る長期間の休みが取れるようスタッフ間で話し合い、長期休暇はかさならない様取る事にした。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			管理者から各職員の勤務状況を報告して、給料査定に反映している。		職員が直接経営者に会う機会は少ないが、管理者が職員の勤務状況を報告し、必要であれば経営者が面接をおこなっている。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			担当者がつき、不安や希望が言いやすい環境作りに努めている。		入居前にご家族と話し合の場を設け、生活歴他を聞くようにしている。入居後は面会に来られた際、日常会話の中からお聞きしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前は話し合いの場を設け、その後は、面会時や電話にて不安、希望を聞くようにしている。		担当のケアマネージャーや相談員の方からも情報を頂き、入居の際には管理者、ユニットリーダーと共に担当者も同席し家族の方と話し合う機会を設けている。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 医療系サービスを希望された時は介護保険外である事を説明し了承を得てからサービスを受けている。		現在、リハビリ、マッサージを受けている方がいる。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人の意向をご家族に伝えお試期間を設けた上で、希望があれば家族の方に再度了承を得てサービスをうけている。 (外部評価) 入居前にご自宅や入院先に訪問し、お話をうかがうようにされている。		入居前の情報収集に努め、馴染みの物など有る場合は入居時に持って来て頂き、安心して生活出来るような環境作りに努めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 個々の状況に応じ出来る事はして頂き、日常生活において自信をつけて頂くようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者の語る人生訓に学ぶことが多い。又、料理の味付けや洗濯の仕方等を教えていただいた際には、「勉強になります」と感謝の気持ちを表しておられる。利用者同士が居室を訪問し合い世間話をされたり、連れ立って畑仕事に出かける方もいる。		馴れ合いになり、言葉がきつくならない様に注意している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時にホームでの生活状況を伝え、不安、要望等を聞くようにしている。		行事等の参加の呼びかけを行っている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 不穏や食欲不振などがみられた場合、家族の方へ連絡し面会に来て頂いている。		食欲不振の方には、家族の方の手作りの惣菜等を持ってきてもらっている。なかの便りを送り日常生活の様子を知らせている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入居前に参拝していたお寺などに出掛ける案は出ているが、利用者の状況やスタッフの人員数の問題などから行われていない。		入居される前の大切にしていた習慣が継続できる様に援助したい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 居室で過ごす時間の多い利用者にはホールで出来る事を提供し、また陰口等がみられた時にはスタッフが入り状況説明をしている。		食事の準備、カンガ-作り、壁画作り、ゲーム等の交流する場を設けている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他の施設に移られた方の情報交換をしている。		退去を希望された段階で居宅と連絡を取り、本人、家族、意向を聞いている。か

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ケアプラン作成時には本人の希望を聞き入れている。		希望の伝えにくい方等には、行動パターンや言動などからも希望を読み取り、また家族の方に聞いたりしている。
			(外部評価)		
			日々のかかわりの中で、利用者の思いの把握に努め、申し送りノートや個別の記録に記載されている。		今後さらに、利用者一人ひとりの暮らし方の希望を探り、「利用者、家族の夢に向かって努力します」という理念に基づき、支援を継続していかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時にフェイスシートを作成している。また、以前の病院からのサマリーに目を通し、経過の把握に努める。家族の方の面会時に生活歴や趣味他なども聞くようにしている。		生活歴、既往歴、バックグラウンドについて、特に重要な点は全スタッフへの申し送りを確実にやっている。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎日のバイタルチェックをし健康管理をしている。申し送りノート、医療ノートに必ず目を通す。		精神状況にも気を配り声掛けをする。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			入居前は入院している医療関係者に日常生活状況を聴き、その情報も参考にしてプランを立てる。入居後は生活状況に応じその都度プランの見直しをしている。		プランの見直し時、カンファレンスにも家族の方や本人様も参加してもらおう。
			(外部評価)		
			ご本人やご家族、ご姉妹の思い、職員が日々利用者とかかわる中での気づき等を探り入れて、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				入居者の変化に応じ対応をスタッフで協議し実践している。		記録の際にプランの確認をするが、プランに入れた方が良いと思われる事があれば各担当に分かる様に付箋紙に記入し貼り付ける。
			(外部評価)			
					3ヶ月ごとの見直しと、状態変化に応じた随時の見直しを行っておられる。	
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				生活記録を時系列に記録している。ケアプランは一まとめにし、記録の際に確認しやすくしている。		重複する記録は一つにし、記録の改善を行った。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				入居者の身体的変化やスタッフの問題等もあり、同じ事業所のデイサービスとの交流も出来なかった。		月に1度はレクレーションとして外出している。
			(外部評価)			
					通院介助や、利用者の行きつけの美容院の予約、送迎等、要望に応じて支援されている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 避難訓練実施。行事時、高校生の水軍太鼓の生徒が実演してくれた。		ヘルパー自習、ボランティア受け入れを検討。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望に応じて検討し、取り入れるようにしている。		利用者の高齢化に伴い必要としている物が変化しているが、身体的変化に合わせて適切な物を提供している。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の際にアドバイスを頂いている。		本人の意向があればその都度相談している。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居前からの主治医を優先している。本人、家族の希望や了承があれば、ホームの協力医にて往診をして頂いている。 (外部評価) 調査訪問時、かかりつけ医が往診に来られていた。往診や受診結果は、医療ノートに記録し、周知されている。ご家族が同行された場合は、受診後に診察結果をうかがい、ノートに記入されている。		身体的変化に応じ、本人、家族の方との相談の上、主治医の変更も検討している。(ターミナルケアを希望された際、ターミナルを理解、協力して頂ける医師に変更した)
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症が進行したと思われる際には家族の方に相談し、専門医の受診をして頂いている。		専門医を受診し症状に合った薬を処方して頂いたり、アドバイスを頂いている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 利用者の身体的、精神的変化に伴い、ホームの看護師が、協力医やその他の専門医との連絡を密に取っている。		往診や他の病院受診の結果を他の職員も利用者の状況が把握できるように、医療ノートなどに記入している。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 管理者、ユニットリーダーが病院へ出向き医師に病状を確認している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) カンファレンスやミーティングを行い、統一した介護計画を作成している。病態の変化が見られた際は、家族の方と今後の事については話し合う場をもうけている。		家族の思いとスタッフの思いにズレがあり、話し合いを持つタイミングが難しいと感じる。その方に合った協力医を検討していく。
			(外部評価) 利用者の状態変化時には、その都度、ご家族と話し合われている。現在、ご家族の希望として最期まで事業所にお任せしたいご家族もおれば、最期は自宅で看取りたいというご家族もいる。		管理者は、今後、看取りについての勉強会を行い、終末期に向けた方針を職員で共有し、ご家族の協力等、さらなる体制作りに取り組みたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療行為が必要になってきた場合など、家族の方と今後の事を話し合う場を設けるようにしている。高齢化や身体的レベルの低下に伴い、外出の機会が減ってきている。		人員を増やして欲しい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退去後に入られる施設の方にホームでの生活を見て頂き、ホームでの生活状況やサマリーに記載事項が無い様な事は直接お話ししている。		自立支援を積極的に行っている。退去が決まった時点で居宅や、退去後の施設の相談員の方と連絡を取り、今後の事を相談している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	(自己評価)		
			利用者が失敗した時などの声掛けは、他者には聞こえないように耳元で行い分らない様に処理をする。生活記録にはイニシャルで記録する。		利用者の方を傷つけないよう、声掛けに注意している。
			(外部評価)		
			職員は、利用者を目上の方として敬い、プライドを傷つけないような言葉かけを心がけておられる。		ユニットによっては、精神的な疾患を持った利用者も複数おられる。事業責任者は、今後も、利用者一人ひとりの誇りを尊重した声かけや対応に努めていきたい、と話しておられた。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			耳の遠い方には筆談をしたり、あまり話しをしない方にはこちらから積極的に話すようにしている。		利用者の言動を傾聴し、安心して思いや希望を表現出来るように雰囲気作りにつとめる。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者の希望に添えるようスタッフ間で話し合い検討している。無理強いはしていない。		利用者が安心してつろげる場を設けた。(畳みコーナーの利用)
			(外部評価)		
			昼食後、個々のペースで歯磨きをされていた。又、お気に入りの畳コーナーの座椅子でテレビを見られたり、居室で身の回りの整理整頓をされる等、思い思いに過ごしておられる様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節に合った服をスタッフと相談してきている。利用者の希望によりホームで毛染めやカットをしたり、訪問美容室をお願いしている。		家族の方の面会が少ない方は、家族の方の了解を得た上で衣替えなどスタッフと一緒にしている。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜の皮むきや盛り付け等、職員と一緒にしている。食後のお盆拭きなど積極的に手伝ってくれている。 (外部評価) 調査訪問時、かぼちゃの煮物を丁寧に盛り付けている利用者の様子がうかがえた。又、押し車を利用されている方や車椅子を利用されている方も、ご自分で配膳や下膳をされていた。時には、ご家族からいただいた新鮮な果物や、事業所の畑で採れた野菜が食卓に上ることもある。誕生日には、利用者のお好みのメニューでお祝いされている。		お手伝いをする事が毎日の日課になっている人などは、他者をお願いをすると不満がでたりするが、利用者同士が傷つかないように声掛けを心がけている。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲酒を希望される方は医師から止められているので出していないが、好きな飲み物は希望時に飲んで頂いている。		季節に応じたおやつを一緒に作ったりしている。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックパンの活用。排便がスムーズに行えるよう、必要時に内服にてコントロールする。		利用者の排泄パターンを把握し、トイレの声掛けをしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者の希望を出来るだけ優先しているが、入浴を嫌がったり洗髪を嫌がる人に対しては説明したうえ、入っていただく。 (外部評価) 利用者個々のペースに合わせて、入浴支援をされている。基本的に同性介助となっている。		異性の職員の介助を嫌がる方は同姓の職員が対応している。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間帯に十分睡眠が取れず、日中ウトウトされている時には居室で休んで頂いている。		居室で休むと寂しいと感じる方はホールのソファで休んだり、畳みコーナーで休んだり、本人が安心出来る場所を提供している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 個人の能力に応じ、日常行う家事(食事、清掃、洗濯等)を行っている。 (外部評価) トイレ掃除や畑仕事、お裁縫、食事の準備、洗濯物たたみ等、利用者一人ひとりの力を活かした支援に努めておられる。牛乳パックで椅子を作り、他の利用者や職員にプレゼントされる方もおられる。毎月のカレンダー作りも楽しみにされている。		畑仕事にも参加していたが、身体レベルの低下もあり昨年ほど行っていないが、出来る事を手伝って頂いている。 事業責任者及び管理者は、今後も、利用者個々の身体機能の維持に取り組み、生活の中に張り合いや喜びを見いだせるような取り組みを継続していきたい、と話しておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族の方に了承を得た上、おこずかいとして所持して頂き、買い物に行った際に支払いをしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者のペースやレベルに合わせて外出をしている。庭の散歩や洗濯物干しなど戸外にでる機会を作っている。		日常生活の中で楽しみを見つけ、楽しいと感じて生活して頂けるように援助していきたい。
			(外部評価)		
			年間計画を立て、月に1度、ぶどう狩りやそうめん流し等に出かけておられる。		さらに、日々の散歩や買い物等、利用者個々の希望に添った支援に向けて、取組みを工夫されてみてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			月に一度は外出できるよう、レクレーションを企画している。天候などで実行できない時は、別の日に買い物や季節の花など見学に出掛けている。		外出前に家族の方に連絡を取り、時間が合えば参加して頂けるか確認を取っているが、仕事をしている方が多い為か参加して頂けない。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人が希望された時や、ご家族を気にされた時は電話を掛け話しをして頂いている。手紙はほとんど書く人がいないが、年賀状など希望される時は買って来て出している。		家族の方とのお電話は、子機を使用し自室で話して頂いている。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会の方には気持ちの良い対応、挨拶を心掛けている。希望により居室やソファなどで談話して頂いている。利用者の日常の様子も伝えている。		談話室など、宿泊の希望があれば提供していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束に関する事は行っていないが、転倒の危険性のある方は、夜間帯のみ家族の方の了解の上、ベット柵を使用することもある。		出来る限り拘束以外の方法で対応出来るようミーティングで話し合い、ケアの統一を図っている。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中玄関のカギは開いており、天候の悪い日以外は扉も開け網戸にしている。居室のカギは、ほとんどの人は掛けておらず、外出時に1, 2名がカギをかけている。 (外部評価) 調査訪問時、玄関は網戸にされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中居室に入室してしまう方は、体操や水分補給時などに声掛けをしている。夜間帯は毎時間の巡視を行い、様子観察をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 誤飲の恐れのある物はあずかる。		洗剤他、危険物を利用者の目の届かない所に置き換える。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態に応じて見守りを行い、ケアプランにてケアの統一を図っている。		転倒防止の為、夜間帯のみセンサーマットを使用している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変や事故が起きた時には看護師や医師に指示を仰いでいる。緊急時対応マニュアルは出来ているが、定期的な訓練は出来ていない。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議の際にアドバイスを頂き、災害時には地元の消防団の方に協力をして頂く事になっている。定期的に避難訓練をしている。 (外部評価) 今年はまだ避難訓練を実施されていない。運営推進会議時、豪雨や災害時の備蓄や心構え等について話し合われた。今後、水や食糧の備蓄について検討していきたいと考えておられた。		さらに、すべての利用者が安全に避難できるよう、地震等、いろいろな災害や場面を想定した訓練の実施が期待される。又、地域と相互に協力できるような体制作りも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に転倒などの危険性があることは話している。必要に応じて家族の方にお話はしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックをしている。異常が見られた場合は、担当医師に報告し指示を仰いでいる。医療ノートに記載し情報を共有している。		夜間帯体調に変化があれば、協力医に連絡をするか、救急車をよび対応する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誤薬が無いようにスタッフ一人一人が注意をし、ホームでのマニュアルを作っている。処方箋の活用や、医療用のノートに記入している。		薬を分包する際、責任の所在をはっきりさせる為、分包した者がサインをしている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給や体操を行っている。		10時15時の水分補給。10時ラジオ体操をうながしている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケア実施。自分で行えない方は介助をしている。就寝前はポリドントにつけ消毒。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 高齢で食が細くなった方や偏食のひどい方に対しては、担当の医師と相談し栄養ドリンクを処方して頂いている。 (外部評価) 魚と肉のバランスや脂肪分の摂取量等に留意して、変化を持たせた献立に心がけておられる。食堂には、いつでも水分補給できるよう、ミネラル水やお茶が用意されている。ペットボトルに入れて居室で飲まれる方もいる。		自力摂取が困難な方は介助している。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 清掃時に、床、手すり等はハイター液で消毒している。手拭きタオルはペーパータオルを使用している。年に一度、インフルエンザの予防接種を受けて頂いている。		ノロウイルスが流行した際は、面会者他、訪問者に手洗いやマスク着用等の協力を得た。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理者は手洗いを丁寧にを行い、調理をおこなう。まな板は調理終了の度にハイターにて消毒を行っている。食材は新鮮な物を使用し、又、保管も出来ている。</p>		<p>地元のスーパ-に注文している。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気候の良い時は玄関を網戸にしている。季節の花が出来るだけ絶えないようにしている。スロープを利用する事により安全に出入りが出来ている。</p>		<p>玄関先に花やめだかがいる事により、近所の方や訪問者との付き合いが円滑になっている。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>時間帯によりテレビの音量は調節させて頂いている。壁画や手作りカレンダーにて季節感をだしている。</p>		<p>壁画やカレンダーは利用者と協力して作成している。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>玄関先では、プランターに色とりどりの花を育てておられる。玄関には、メダカが泳ぐガラス鉢が置かれ、食堂の卓上にはお花を活けておられた。居間の窓から、たわわに実った稲穂や真っ赤な彼岸花が眺められた。利用者と共に作成した、季節の風物をかたどった壁画や、行事の際の利用者の写真等も飾られていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファ-やテーブルの位置を、利用者が安全に過ごせるようにと考え配置している。</p>		<p>食事の席は気の合う人と一緒にしている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時使い慣れた物を持って来て頂いている。畳が落ち着く方は畳ベットにしている。		荷物の多い方は家族の方に相談し、転倒予防の為に荷物の整理をお願いしている。
			(外部評価)		
			居室には、テレビや鏡台、椅子やテーブル等を持ち込まれていた。職員から誕生日にプレゼントされた時計や、ひ孫さん達の写真を大切に飾っておられる方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓の開閉を行い換気に努めている。日中、外気温が高く蒸し暑い時には除湿をかけるが、あまり温度差が無いように27 としている。		毎日の清掃時には窓を開けて換気をしている。ポータブルトイレは起床後すぐに片付け、週に1度は日光消毒をしている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			要所要所に手すりをもうけている。車いすの方が安全に自力駆動出来るよう導線を考えている。		身体レベルの低下により、ほとんどの方が車いすかシルバーカーを使用しているが、自分でできる事には手を貸さず、出来る限りやって頂いている。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			日常生活の中で各人得意な事を活かし、見守りの中で自信を持ってやって頂く。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			洗濯干し場、畑に通じる道にベンチを置いる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の関わりの中から、利用者の意向を読み取る様に努力している。意思表示の難しい方からは、表情や行動から読み取るようにしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	水分補給の時間帯や、食事の後など、スタッフも同席し話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事の時間や、他者と共有する時間以外は、好きな所で好きな事をして頂いている。但し、居室での時間が多い方には、ホールに出てきてもらう様声をかける。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常のお手伝いを積極的に行って頂いている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物などの希望があれば出来る限り対応しているが、人員体制の都合により難しい事もある。月に一度の外出はスタッフの人数を調整し対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者一人一人に主治医がいる。往診などで健康管理をしており夜間帯でも対応出来るようにし、マニュアル、連絡網等により速やかに対応が取れるようにしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人様、家族の方の要望や状況により、必要であれば医療保険を利用したサービスを受けて頂いている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 1 ほぼ全ての家族と 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	最近入居された方の家族の方とは、あまり話をする機会がもてていない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	地域の方との交流は主に、秋祭り、クリスマス会の時である。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の清掃やお祭りに参加している。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者のレベル低下に伴い、仕事は精神的大変になって来たが、リフレッシュ休暇も取れる様に話し合い、希望すれば長期休暇も取れるようになった。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人様の希望は出来る限りきいている。表情も明るい。家族の方に「表情が明るくなった」と言われた。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族の2/3くらいと 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	スタッフが病院受診に対応出来ない時があり、家族の方をお願いしているが、難しい方もおられ負担と感じているのではないかと。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

残存能力が低下しない様に援助し、自立支援に向けて取り組んでいる。